

# おなかね 小合

発行者 小合地域コミュニティ協議会 (コミュニティセンター内) ☎0250-25-2299 発行人/阿部 繁 編集/総務部	地域の人口動態
	令和2年10月末現在
	世帯数 1,257戸
	男 17,76人
	女 1,872人
	人口 3,648人



平成23年8月の水害で、  
信濃川堤外地が浸水し、  
大きな被害を受けた。

## 目次

- ・「小合地域自主防災研修会」・・・ 1P
- ・「コミぶら散歩」金津地区・・・ 2P
- ・令和2年度小合「愛さつ運動」・・・ 2P
- ・フラワーアレンジメント教室・・・ 3P
- ・「フレイル予防教室」(第1回)・・・ 4P 他



10月24日午後2時より小合コミセン大ホールにおいて、小合全域より参加の各自治会・町内会代表の方をはじめ各学校関係者など、ホールいっぱいの方々が参加し、開催しました。

感染症対策(マスク、消毒、検温)を実施しての研修会となりました。

## 「小合地域自主防災研修会」開催

小合地域自主防災協議会 10月24日(土)  
会場：小合コミセン 大ホール

新型コロナウイルス感染症の完全なる終息が見通せない状況下において、例年通りの避難訓練は難しく研修及び段ボールベッド・パーティションの作製と無線機の交信を体験しました。

新潟市防災課(2名)の講師の皆さんより

1. 新潟市の災害リスク
2. 新潟市の防災体制
3. 避難情報と避難行動
4. 災害時の備え

などについてのお話がありました。その後、段ボールベッド・パーティションの作製では「できね〜」「簡単だ〜」などの声があり、パーティションではプライバシーが守られると感じました。

また最大の防災力とは日々の健康を維持することと教えていただきました。

パーティション作成



段ボールベット作り



災害は、忘れた頃にやってくる。防災を「忘災」にしない。

# 秋葉区「ミニ連 金津地区」ミニぶら散歩

秋葉区11コミュニティ協議会による持ち回りで毎年開催(昨年度は小合コミュニティ協が担当)する「研修会」は今年度は、金津コミュニティ振興協議会「金津地区コミュニティぶら散歩」として9月16日(水)開催されました。

小合地域コミュニティ協議会からは二人(大竹、稲月)で参加しました。開会式は、午後1時30分金津地区コミュニティセンター集會室に於いて始まり、最初に金津コミュニティ振興協議会青木会長より歓迎の挨拶と金津地区の紹介がされました。

その後は、2台のマイクロバスに分乗してコミぶら散歩がスタートしました。最初の八幡山遺跡へは、通常は乗り入れることの出来ないルートで行きました。芝を

きれいに刈り込み整備された素晴らしい古墳跡、復元された古代

堅穴住居などを散策。参加した二人も堅穴住居の中に入り少し大昔を体感する事ができたと思います。続いては、新津油田金津鉦場跡を散策です。「石油の里」の全体像について、石油採掘施設、石油遺産群などの説明を受けました。多くの施設にはまだまだ溜まっている真つ黒な原油のにおいが強烈でした。私たち二人も今まで何回か見学しましたが、今回は散策ガイドの説明を聴きながらの散策で当時の暮らしや、今から考えれば想像もできない日常生活を少し肌で感じるの出来た素晴らしい散歩となりました。

金津コミュニティ振興協議会の皆様、散策ガイドの皆様ありがとうございました。



## 今年の小合『愛さつ運動』

重点期間：9月24日、25日(地域)  
9月28日、29日(PTA)

春・秋の「小合愛さつ運動」が十月三十一日終了しました。地域の皆様ありがとうございました。春は新型コロナウイルスの混乱で感染拡大防止から、のぼり旗の掲揚とチラシ配付での呼び掛け運動となりました。

秋はコロナ禍の状況を確認しながら、地域の活性化に繋がればと例年通りの行事内容に戻し、地域の各団体と学校関係者で行ない、子ども達への街頭指導を実施しました。

規律正しく、元気に挨拶をして登校する子供達は頼もしく、見守る人の笑顔とで、爽やかな朝の光景がありました。

また、標語を小中学校のご協力で子供達から募集し沢山の秀作をお寄せ頂きました。



### フラワーアレンジメントに

#### 挑戦してみました!

9月27日(日)

『フラワーアレンジメント教室』を開催。  
大ホールにて

講師 中野節子氏から最初にフラワーアレンジメントと生け花の違いを教わりました。生け花は、花と花との空間を上手に生かすことが重要になりますが、フラワーアレンジメントの場合は、空間をぬり絵のように隙間なく埋めていく事で、見栄えのあるすてきな作品になるといふことです。  
14名の参加者の皆さんも真剣に取り組まれ、全員が満足のいく作品を手にと、楽しい時間を過ごすことができました。

【文化教養部】



### 小合コミセンで「新潟県職員研修会」を開催

10月1日(木)～10月2日(金)

新潟県階層別主任研修会がNPO法人まちづくり学校を講師に小合地区コミュニティセンターで行われました。

昨年小合地域コミュニティ協議会が「全住民アンケート」など新潟市地域コミュニティ育成事業を実施したことが縁で、小合地区が会場に選ばれました。

新潟県各地から集まった

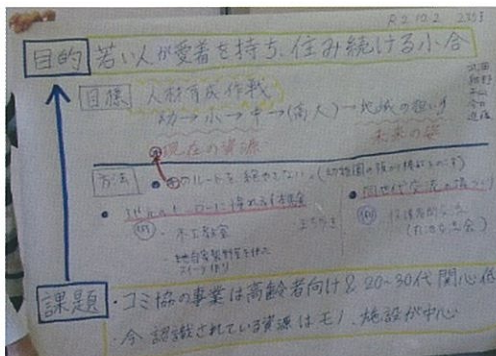


アイデアを聞き大変参考に  
なりました。

内容は11月22日(日)に行われる「小合地区芸術祭」に資料として掲示する予定です。

30名の研修者は『まちづくりの基本的な考え方やスキルを学び、現場に必要な支援策は何かを知るための感覚を身につける』などをポイントに実際に、小合地区を歩き、これからの小合まちづくりについて意見を出し合い最後にグループごとに発表を行いました。

これからの新潟県を支えていく若い新潟県職員たちの熱い思いや、まちづくりの



### 小合コミ協 芸術祭

- ・開催日: 11月22日(日)
- ・時間: 10:00～15:00
- ・内容: 作品展示

読み聞かせ・・・13:00～

演奏会・・・13:40～

♪ えのもと くみこ  
(ジャズシンガー)

♪ 海老 紀美子 (ピアノ)

(演奏会は、コミセンへ事前  
申し込みが必要です)

「フレイル予防教室」(令和2年度第1回目)  
 小合コミ協・秋葉区健康福祉課 共催

10月4日(日)午後2時より小合地区コミュニティセンター大ホールにおいて開催しました。当日は、関心のある方、少し不安のある方など多くの皆さんが参加しました。

秋葉区健康福祉課、新潟医療福祉大の講師の皆さんより

- ① フレイル(Frailty)は病気ではなく、筋力や心身の活力が低下し、健康障害を起しやすいう状態のこと。
- ② フレイルは単なる身体の衰えではない。
- ③ 放っておくと要介護状態にまで進行する。
- ④ フレイルの進行は食い止められませぬ。

フレイルを予防・改善するためには、生活習慣の見直しと筋肉トレーニングということで講師の指導を受けながら全員の体力測定(ふくらはぎの指輪つかテスト、握力、椅子立ち上がり)を行いました。

大ホールは、「アレー」、「エー」、「できない」などの声で盛り上がりました。小合コミ協(地域見守り部)

と秋葉区健康福祉課と共催で地域の人々の健康年齢を伸ばすために企画した行事です。続けて受講して効果を出しましょう。

併せて、フレイルを防ぐには、食生活・日光浴・意識と行動の大切さを分かり易く教えていただきました。



「こんな簡単!」「アレ?」

今年度は、あと2回開催します。

第二回目 11月15日(日)

第三回目 令和3年2月6日(土)

いずれも午後2時(受付は午後1時30分)からです。

予約が必要です。申込み・問い合わせ先小合地区コミュニティセンターまで。(25-2299)

「じじいになっているの」「通学区域」  
 「学校区」で勉強会 開催 10月6日(火)

小合地区には小学校が2つ。中学校が1つ。幼稚園が1つ(他に、小合保育園)がある。就学児童を抱えたり、進学をする子弟がいると学校区を考える家庭も多いと思いますが、それ以外はあまり関心がないというのが実態ではないでしょうか。

近年、大鹿自治会とりわけ大鹿一区町内会では住宅分譲が進み入居者は子弟の就学校をどこにするかが話題になっていきます。通学区域、所謂学校区はどうなっているのかについて勉強会を開きました。

講師には、新潟市教育委員会(2名)に依頼しました。鈴木大鹿自治会長はじめ一区町内会の役員や大鹿・野方自治会長やコミ協役員の参加がありました。隣接の古田町内とは東小学校と第三小学校の境界にあります。子供の将来にかかわることであり親御様の意向と宅地分譲業者の宣伝口上も加わりそれぞれの思惑が錯綜しております。

義務教育は制度によりどこにいても均等に受けられます。人口は地域の活力であります。その増減は地域の盛衰に関わり時には地域間の不協和に発展するおそれもあります。

当然、学校区を越えての入学はいくつかの制約があります。更に開発業者も関与して父兄の学問をさせたいと願う親心が働きます。(令和3年度入学推計 小合東小19人。小合小8人)

新潟市への合併時からの学区処理がまだ不十分なところがあります。その整理とともに私たちには『東幼稚園の廃止とその後跡地利用(認定保育園を作る)要望済み』のこともあります。小合地区の発展と地域の教育の適正化と学校と都市計画の在り方などについても学習をして行政や政治の力と地域住民の力を合わせて取り組みます。

